

「アトピー性皮膚炎に対するデュピルマブの実臨床における効果、安全性の検討」 に関する研究のお知らせ

帝京大学医学部附属病院では以下の研究を行います。

本研究は、倫理委員会の審査を受け承認された後に、関連の研究倫理指針に従って実施されるものです。

研究期間：2019年1月17日～2019年12月31日

〔研究課題〕

アトピー性皮膚炎に対するデュピルマブの実臨床における効果、安全性の検討

〔研究目的〕

デュピルマブはアトピー性皮膚炎に対する初の生物学的製剤として、本邦では2018年1月19日に承認され2018年4月23日に発売されました。2018年6月より当院でも使用を開始し多くの患者さんがデュピルマブによる治療を開始しています。新規薬剤であることからアトピー性皮膚炎の生物学的製剤の実臨床での使用経験は限られており、当院における治療効果や副作用などを検討します。

〔研究意義〕

デュピルマブの治療効果を、皮疹の部位や改善度、血清マーカーなどを指標とし、系統ごとに分析し、効果の特徴を見出します。また副作用についても集積することにより、副作用の程度や新たな副作用が明らかとなる可能性があります。

〔対象・研究方法〕

2018年6月1日から2018年12月31日までに帝京大学医学部附属病院皮膚科を受診したアトピー性皮膚炎に対してデュピルマブによる治療を受けた患者約30名が対象となります。それぞれの患者さんの皮疹の部位別の改善度、生活の質スコア、痒みのスケール、検査値などを後ろ向きにカルテより調べ、傾向を分析します。

〔研究機関名〕

帝京大学医学部附属病院 皮膚科

責任者：帝京大学医学部皮膚科学講座 主任教授 多田弥生

〔個人情報の取り扱い〕

個人情報は厳重に管理されます。学会や論文など学外へ情報を発表する際には匿名化を行うため、患者さんが特定されることはありません。対象となる患者様で、ご自身の検査結果などの研究への使用をご承諾いただけない場合や、研究についてより詳しい内容をお知りになりたい場合は、下記の問い合わせ先までご連絡下さい。ご協力よろしくお願い申し上げます。

問 い 合 わ せ 先

研究責任者：帝京大学医学部皮膚科学講座 主任教授 多田弥生

研究分担者：講師 鎌田昌洋、シニアレジデント 内田秀昭

住所：東京都板橋区加賀 2-11-1 TEL:03-3964-1211

(代表) [内線 32610]